

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 丸森町立金山小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫※注1

☐ 中学校 ☐ 中高一貫※注2 ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒981-2402

宮城県伊具郡丸森町金山字下前川原1-1

E-mail kane-sho@town.marumori.miyagi.jp

Website http://www.town.marumori.miyagi.jp/school/kane-sho/

幼児児童生徒数 男子 12名 女子 17名 合計 29名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校は、「丸森町大好き！我が町自慢」を活動テーマとして、ESDを「丸森町の伝統文化・産業・環境などについて学ぶことで、その価値をとらえ、ふるさとに愛着と誇りをもつ心情を育てるとともに、自分自身の考え方や生き方を深める教育」と捉え、ESDの実践を通して、問題発見能力、課題解決能力、情報活用能力、コミュニケーション能力、他者と協力する態度、思いやりの心、社会規範などの力の育成を目標とした。

地域の自然環境や伝統文化、伝統産業、人材等を活用した体験を大切にした活動を地域の人々や友達とふれあいながら生き生きと学習しています。具体的には、地域高齢者との交流活動、伝統産業学習、伝統行事体験、伝統文化体験を柱に、①もりもりクラブ（地域高齢者）との交流、②まゆ細工によるコサージュ作り、③だんごさし体験学習、④茶道体験学習などを行った。

① 地域高齢者との交流活動（もりもりクラブとの交流）

第3・4学年の総合的な学習の時間で、地域の高齢者との交流事業（もりもりクラブ）を丸森町社会福祉協議会と連携しながら活動を行っている。自己紹介したり、歌やリコーダーの演奏を発表したり、折り紙、けん玉などの昔遊びでの交流を行った。礼儀礼節を身に付けた高齢者の方たちと一緒に過ごすことにより、そのことが自然に身に付き、正しい言葉遣い、思いやりの心などが向上した。

② 伝統産業学習（まゆ細工によるコサージュ作り）

丸森地方はかつて養蚕業が盛んで、いま現在も一部地域で養蚕が行われている。6年生は養蚕で作られたまゆを使い、卒業式に胸に付けるコサージュを作った。この活動を通して、丸森町に受け継がれてきた養蚕の伝統を継承し、そこで生活する人々の思いを感じ取り、ふるさとを大切にしようとする気持ちにつながっている。

③ 伝統行事体験学習（だんごさし体験学習）

第1・2学年では、更生保護女性会のお手伝いをいただきながら、地域の伝統行事である「だんごさし」体験を行っている。だんごさしは、地元に残る小正月の行事で、ミズキの枝にだんごや切り餅をさして飾る行事である。ミズキにさすだんごやもちや作物の実りに見立てて、その年の豊作を祈願し飾られる。できあがったものは学校の玄関に飾り、残っただんごは各クラスに配って食べてもらい、一年間の無病息災を祈る活動を行った。

④ 伝統文化体験学習（茶道体験学習）

第6学年では、厚生保護女性会の指導のもと、茶室を使った茶道を体験した。あいさつの仕方、お茶の点て方、お菓子・お茶のいただき方などの茶道の作法を学んだ。茶道に親しむ心をもつことで、丸森町の伝統文化に触れ合い、ふるさとに愛着と誇りを持ち、ふるさとを大切にしようという気持ちにつながった。



① もりもりクラブ交流



② まゆ細工コサージュ作り



③ だんごさし体験学習



④ 茶道体験学習

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他(ふるさとに誇りをもつ)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 生活科)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・ まゆ細工によるコサージュの作り方 (講師の先生の自作プリント)
- ・ 茶道の作法 (講師の先生の自作プリント)

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200～300字程度)

本校では、1・2年生の生活科や、3年から6年生の総合的な学習の時間を中心にユネスコスクールとしての活動を行っている。毎年、活動内容を見直し共通理解を図ることで、「丸森町の伝統文化・産業・環境などについて学び、その価値をとらえ、ふるさとに愛着と誇りをもつ心情を育てるとともに、自分自身の考え方や生き方を探る、深める教育」に取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

毎年1月頃に活動の成果と課題、改善点について話し合い、次年度の活動に生かしている。また、活動内容ごとにファイルにまとめ、過去に行った活動を振り返れるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

- ・ 児童アンケート，保護者アンケート，教職員アンケートによる評価
 - ・ 活動実施後の自己評価と担当教員の評価
 - ・ 学校評議員会による評価
- ↓
- ・ 思いやりの心や社会規範が向上した。
 - ・ 6年間の活動内容の見通しができている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

本校のホームページに活動概要や年間計画、活動の成果を掲載している。また、職員室前掲示板にも、活動内容を掲示している。さらには、10月の学習発表会で、保護者や地域の方々に活動の成果を発信した。

学習発表会では、保護者の方々から「地域のことがよく分かった」「発表が分かりやすかった」「感動した」と、児童の学習意欲の向上につながる意見をいただいた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

丸森町で毎年１月に行われている「生涯学習町民のつどい」において、金山小学校のＥＳＤの取り組みの活動内容をまとめたものを発表会場に展示していただいた。また、丸森町協働教育推進会議において本校のＥＳＤの取り組みについて発表した。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

特に、行っていない。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

- ・ 高齢者との交流により、思いやりの心が育まれている。
- ・ ふるさとの伝統文化や産業が大切なものであり、守っていききたいという思いが育まれている。
- ・ 学習発表会での発表の場を持つことで、地域や保護者の人たちに児童のふるさとへの思いが伝えている。
- ・ 丸森町民体育館に金山小学校のＥＳＤの活動の取り組みをまとめた掲示物を掲示させていただき、町民の皆さんにも金山小児童のふるさとへの思いを伝えることができた。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

＜ESDを基盤としたふるさと学習のねらい＞

ふるさと丸森町を多角的な視点で学び、ふるさとに誇りをもつ心情を育てるとともに、自分自身の考え方や生き方を探り深め、問題発見能力、課題解決能力、情報活用能力、コミュニケーション能力、他者と協力する能力、思いやりの心、社会規範などの力を身に付ける。

＜学習活動年間計画＞

- 6月20日(水) 3・4年もりもりクラブ(地域の高齢者)との交流会
- 9月14日(金) 1・2年もりもりクラブとの交流会
- 12月 1日(土) 6年まゆ細工によるコサージュづくり
- 12月頃 6年茶道体験
- 1月10日(木) 1・2年だんごさし体験活動
- 2月14日(木) 3・4年もりもりクラブとの交流会